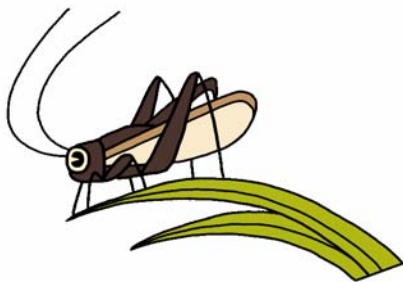




この頃は朝夕めっきりすずしくなり、秋めいてきましたね。確実に季節は秋に移りつつあります。今月の25日は中秋の名月です。ゆったりお月見でもしつつ、秋の夜長を楽しみたいものですね。では、今月も宜しくお祈りします。



## 今月のトピックス

1. 社長室から、こんど~です
2. 司法書士の西田です
3. 経営まめ知識
4. お勧め本のご紹介
5. 顧問先様のご紹介

### ◆ 社長室から、こんど~です

皆様こんにちは。いつもたいせい通信をお読みいただき、有難うございます。毎日暑い暑いと言ってきましたが、9月の声を聞くと朝夕は過ごしやすくなってまいりましたね。気が付くと今年もあと3ヶ月ちよつとになってしまいました。毎年お正月には、今年こそはダイエットしようと思うのですが、おいしい物を前に行くと、「ダイエットは明日から」と言いながら食べてしまいます。ところが、そうも言ってられなくなってしまいました。それは今年の健康診断で初めて血圧が高かったのです。やっぱり太り過ぎと年齢だと思います。健康一番ですね。頑張って減量し、体調を整えようと思っておりますが、食欲の秋です...きびしい~!!

さて、今月は人脈について少しお話させていただきます。皆さんは一年間に何人の人と出会って名刺交換していらっしゃいますか？また、その人の顔と名前が一致しますか？そして、その出会った人の中からどれくらい自分の人脈を作ることができるのでしょうか？仕事の中でも誰かの紹介により広がっていくということがあります。まさに人脈によりキーマンにアプローチすることが出来るということはよくあります。その人脈は友達であったり、先輩であったり、後輩であったり、今まで出会った中にいるのです。そこで自分の人脈チェックをしてみましょう。

- ① いつでも会ってくれる・電話を受けてくれる。
- ② 相談に親身に乘ってくれる。
- ③ 仕事以外に会って、時々一緒に食事をしたり飲んだりする。
- ④ 忠告苦言を呈してくれる。
- ⑤ こちらに有利な人を紹介してくれる。

こんなポイントを押さえて本当の人脈という人がどのくらいいるかによりビジネスも人生も変わります。人脈はパワーです。

昔、徳川家に仕えた柳生家の家訓に、

**「小才は縁に出会って縁に気付かず。中才は縁に出会って縁を生かさず。大才は袖擦り合った縁をも生かす。」**

とあるそうです。いただいたご縁を生かし、人脈を広げていきたいものです。

最後に、また来月SYワークスの勉強会の第2回目を23日に予定しております。また前もってご案内致します。無料相談も含め、ご参加よろしく申し上げます。ありがとうございました。

(株大成経営開発社長 近藤 記)

## ◆ 司法書士の西田です

司法書士・土地家屋調査士の西田です。平成9年に司法書士登録し、平成12年に土地家屋調査士登録し、大成グループには平成14年に参画させていただきました。司法書士事務所開業当初は、若干23歳で熊本で最も若い司法書士だったのですが、司法書士・土地家屋調査士の業界の様変わりする中、若さを振り回して懸命に努力しつづけていたら、あっという間に33歳となり、業界ではまだまだ若いと言われますが、子供たちには「おじさん」と呼ばれる年齢になりました。もはや振り回すほどの若さはありませんが、気持ちだけは開業当時のまま、お客様の満足を得るために懸命に努力し続けたいと考えております。

さて、当事務所では、法務を中心に不動産登記・商業登記などを行っておりますが、税務・労務などについても、税理士事務所・社会保険労務士事務所とも提携し、事業のあらゆる面でトータルサポートできる窓口となれるように心がけています。また、昨今においては、多重債務を抱えて悩んでおられる方が多く見受けられます。当事務所では、その様なかたがたに適切な法務サポートを提供すべく、簡易代理権限を付与された認定司法書士として、任意整理・自己破産・民事再生などの多重債務整理の案件にも積極的に取り組み、皆様の身近な法律家として貢献できるように、日夜努力しております。

業務とは無関係ではありますが、自己紹介の意味を込めて、私の趣味である社交ダンスについて一筆書かせていただきます。

お客様の中にも社交ダンスをやってらっしゃる方は多いかと思いますが、社交ダンスは大きくモダンとラテンにわけることができます。モダンには、ワルツ、タンゴ、フォックスロット、クイックステップ、ベニーズワルツ(ウイナワルツ)があり、ラテンには、ルンバ(キューバンルンバ)・チャチャチャ・サンバ・ジャイブ・パンドブレといった種類があります。以上10種目が競技会で使われる種目になります。10種目もあるのですから、社交ダンス競技会で全部やろうと思ったらかなり大変です。一曲が大体二分程度なのですが、二分間で本当に疲労困憊になります。体力がなければやってくれません。



その他、モダンにはブルース、ラテンにはマンボ・ボックスルンバ・ジルバなどもあります。昔、私の地元である八代にもダンスホールがあった時代もあったらしく、ジルバやブルースがよく踊られていたと聞いています。昔はダンスホールが盛んで男女の出会いの場所であったという歴史的経緯があったからかどうかは知りませんが、日本における社交ダンスは、ダンス教室もダンスホールも「風俗営業などの規制及び業務の適正化に関する法律」の適用を受けるそうです。風営法は、善良な風俗と清浄な風俗環境の保持と、少年の健全な育成に障害を及ぼす行為の防止を目的とする法律ですが、ダンス教室もその規制の必要があると考えられているようです。



社交ダンスの世界は、普段の仕事と全く関係がなく、普段では味わえない緊張感と喜びを与えてくれます。また、運動不足の解消にもなり、健康を維持するのにも役立ちます。また、夫婦でやれば家庭円満を保つことができます(推測)。さらに、社交ダンス界は慢性的に男性が不足していますので、男性の方は多くの女性との出会いが望めます(希望)。ご興味のある方は、是非一度挑戦してみてください。

(司法書士・土地家屋調査士 西田 記)

## ◆ 経営まめ知識

早いものでもう9月になりました。東京は朝夕が大変しのぎやすくなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？台風が直撃するという事で大騒ぎしていますが、九州に比べたらいした事ないみたいです。が。。。。。

先月は『組織の力学構造』についてお話しましたが、今回は日本人と外国人の『仕事観』について、基本的な違いをお話させて頂きたいと思います。日本がバブルのころ世界から日本人は、働きすぎだという事で非難を受けました。また、日本の戦後の復活と高度成長は、世界的に例がなく日本人の仕事に対する姿勢を研究した人がいました。その研究によりますと日本人の仕事に対する価値観は、英語で **LABOR** だそうです。また、外国人は **WORK** だそうです。その意味の違いが、外国人から見たときの日本人の偉大さと神秘性につながっているみたいです。また、日本人的に考えた時には、自覚していようがいまいが成長する人とならない人の差になっているみたいです。

外国人の仕事観であるワーク (WORK) の意味は、給料をもらうために働く ということだそうです。ところで、日本人の仕事観であるレイバー (LABOR) の意味は、困難な仕事に精を出す という意味だそうです。同じ仕事でも給料だけのために働く人と、困難な仕事でも自己の成長と幸せのために精を出して働く人では、当然結果に相当の差が出てくると思います。LABOR 的考え方が出来る人は、仕事に対する姿勢・熱意などが WORK の人より優れ、またそれを組織へ同化させる事が出来ます。結果として、多大な地位や給料を得ていく事になります。

日本人が世界から不思議がられ神秘的に見えるのは、仕事に対する価値観の違いもあるみたいです。仕事を自分の人生の敵 (WORK) とした人は、一生重荷を背負う事になります。また、仕事を自分の人生の味方 (LABOR) にした人は、一生幸せな人生が送れるのではないのでしょうか。

私はこの話を聞いた時に、この考え方この価値観が正しいかは解りませんでした。ただ、人間は機械ではありませんので、仕事だけではなく遊ぶ事休暇する事も人生であり仕事だと思って生きています。仕事の中に人生があり、人生が仕事そのものだからです。来月は、仕事の報酬について話をしたいと思います。

(株大成経営開発コンサルティンググループ会長 石本 記)

## ◆ お勧め本のご紹介「志のみ持参」

著者: 上甲 晃  
出版社: 到知出版社  
価格: 1,200 円

「志のみ持参のこと」とは、松下政経塾が塾生を募集するときのメッセージだとか。松下幸之助さんが私財を投じ、立派な指導者を育てたいという思いから出来た松下政経塾。集まってくるのは、志高く、超エリート of 若者達です。しかし、そこで教えられるのは、「まず毎朝早く起きて、しっかりと掃除をすることから」ということ。



ここから塾長である著者と塾生の闘いが始まります。高等教育を受けた人ほど、心とか腹ではなくて、頭で、理屈で考える傾向があるので、どんな簡単なことも、ものすごく難しいことになります。ある時は、塾生の一人が「毎朝早く起きて掃除をしろということですが、掃除をすることの意義と効用について、その理論的根拠を述べてください」と言ってきたこともあったそうです。

人間教育の難しさとその奥深さを知ることができる一冊です。管理教育では人は育たないとのこと。社員教育に悩める社長様方に読んでいただけたらと思います。



## ◆ 顧問先様のご紹介

今回ご紹介させていただくのは、水俣にあります農山畜産様です。養豚、豚肉の販売、バーベキューハウスの経営及び肉のインターネット販売をされています。

勿論、どの会社も自分とこの商品へのこだわりというのはあると思いますが、農山さんの豚へのこだわりは、すごいです。まず品種。バブコックスワイン種の洗浄豚を扱っています。これは農山さんがよい豚を求めて日本全国を歩いて、岩手県で出会うことができたものとのこと。また、飼育環境にもこだわりを持っています。“豊かな自然とおいしい水”です。愛情をもって飼育し、本来の育つ力を大切にしていますとのことでした。

なんだか比べては失礼かとは思いますが、この話を聞いて、人間もおんなじかもなあと思ったことでした。環境って大切ですよ。たまに自然の中に行くと、とても癒されるというか、本来の自分に戻れるような気がします。子育て中のママさん方、是非お子ちゃま達を自然の中に連れて行ってあげましょう。のびのびと遊ばせて、本来の育つ力を引き出してあげましょう。(子供と豚を一緒にするなどお叱りを受けそうですが。。オホホ)

ところで、モンヴェール農山さんにはバーベキューが出来る施設もあります。去る9月1日、大成グループでは社内レクリエーションも兼ねて、夏の終わりのイベントとして、みんなで出掛けてきました。右の写真がその時の様子です。社員旅行で、あるいはグループで、家族で、皆様お出掛けしてみたいかがでしょうか。熊本からだとちょっと遠いですが、人数が集まれば送迎バスもできますヨ。秋の行楽にどうぞ。



### かくれ豚の里 モンヴェール農山

住所：水俣市長崎 552-7

Tel : 0966-68-0028

Fax : 0966-68-0118

<http://www.nouyama.jp/>

営業時間 10 : 00 ~ 20 : 00



### 編集後記

これから食べ物が美味しい季節になりますね。自然の恵みに感謝しつつ、バクバクいただきますあ〜す！

発行元 ㈱大成経営開発 統括室 住所：熊本市田井島 1-3-50

TEL:096-377-1101 FAX:096-377-1114 E-mail:taisei-k@arion.ocn.ne.jp